TECHNIX ADVANCED SMART CARTRIDGE

TASC for SUZUKI Bandit1200/S

2000-2005

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高機能カートリッジフォークへBandit をアップグレード！

TASC 内部イメージ
（写真は MT-09）

SUZUKI Bandit1200/S　¥129,800（税抜¥118,000）　TASCBDT12

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、
弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ¥8,580（税抜¥7,800）
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール（ダストシールは SKF）

ノーマルフォークスペック

- 伸側ダンピングアジャスター装備
- カートリッジ式
- 純正プリロードアジャスター

▶

TASC フォークスペック

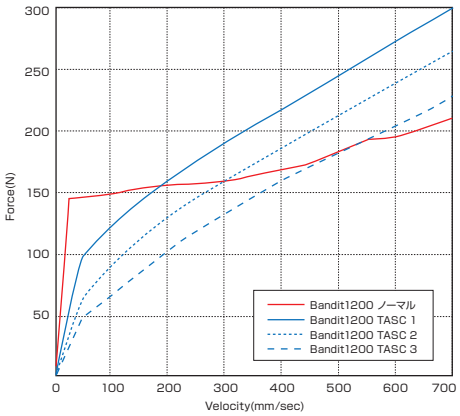
- 伸側ダンピングアジャスター
- 圧側ダンピングアジャスター
- カートリッジ式高性能積層シム
- TASC スプリングプリロードアジャスター
- 専用フォークスプリング

スポーツライドからロングツーリングまで、意のままに操れるマシンに

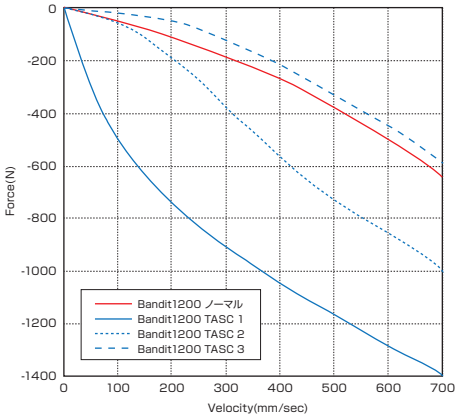
純正フォークには減衰力調整機能がないものを採用する Bandit1200。全体的に減衰力のボリュームが少なく、
街乗りなどの低速域では乗り心地はよいが、スピード域の上がるワインディングなどでは、ブレーキングで一気に奥まで入ってしまう。
また、ブレーキをリリースした後の戻りも早く、コーナリング中はフワフワと落ち着かない。
そこで、Technix ではフロントフォークの弱点を補うべく TASC キットを Bandit1200/S 用に新たに開発。
調整機能付きトップキャップを組み、スプリングレートを適正化。積層シム型バルブ システムを用い完全カートリッジ化を図る。
片側をコンプレッションダンパー、もう片方をリバウンドダンパーの左右 独立調整式システムに大きく変更。
ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行まで幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドの
セッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

Bandit1200 TASC コンプレッションの比較例



Bandit1200 TASC リバウンドの比較例



ストリートセット　低速、低荷重でも乗り心地を損なわないようにプリロードを抜き小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。
フロントタイヤが路面に留まるよう伸、圧とも減衰力を若干効かせ気味にセットアップ。

ワインディングセット　積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にストリートよりもプリロードを掛け、路面への接地感を上げるため
コンプレッション・リバウンドともに強めにセット。ストローク中間域でも減衰をしっかり効かせ安定した車体姿勢で ライディングができるようセットアップ

弊社テストでは、リアショックを「NITRON　R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。
同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

Technix racing suspension
有限会社テクニクス

［ご注意］：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。